【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和5年8月17日(2023.8.17)

【国際公開番号】WO2022/118559
【出願番号】特願2022-566781(P2022-566781)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｎ　5/06(2006.01)
Ａ６１Ｍ25/04(2006.01)
Ａ６１Ｎ　5/067(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｎ　5/06　　Ｚ
Ａ６１Ｍ25/04
Ａ６１Ｎ　5/067

【手続補正書】
【提出日】令和5年1月17日(2023.1.17)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
長手軸方向に第１端と第２端を有するシャフトであって、該長手軸方向に延在している内腔を有するシャフトと、
前記シャフトの前記内腔に配置され、前記シャフトの前記長手軸方向に平行な回転軸周りに回転可能であり、遠位部の周壁の一部に第１窓が設けられている第１筒状部材と、
前記第１筒状部材の内腔に配置され、前記シャフトの前記長手軸方向に平行な回転軸周りに回転可能であり、遠位部の周壁の一部に第２窓が設けられている第２筒状部材と、
前記第２筒状部材の内腔に配置され、前記長手軸方向に移動可能な導光装置と、を備え、
前記導光装置は、前記長手軸方向に延在している光ファイバーを有し、
前記光ファイバーは、コアと、該コアの径方向外方を被覆するクラッドとを有し、かつ、前記コアの遠位部の一部にクラッドの非存在部を有しており、
前記導光装置からの射出光が前記第１窓および前記第２窓を通過し、
前記第１筒状部材と前記第２筒状部材はそれぞれ、金属を含む補強材が配置されている第１区間を有しており、
前記第１筒状部材は、前記第１筒状部材の前記第１区間よりも遠位側に位置し、前記補強材が配置されていない第２区間をさらに有し、
前記第２筒状部材は、前記第２筒状部材の前記第１区間よりも遠位側に位置し、前記補強材が配置されていない第２区間をさらに有し、
前記第１窓は、前記第１筒状部材の前記第２区間に配され、前記第１筒状部材の前記第１区間には配されておらず、
前記第２窓は、前記第２筒状部材の前記第２区間に配され、前記第２筒状部材の前記第１区間には配されていない光照射医療装置。
【請求項２】
前記シャフトの周方向において、前記第１窓は前記第２窓よりも長い請求項１に記載の光照射医療装置。
【請求項３】

前記シャフトの長手軸方向において、前記第１窓は前記第２窓よりも長い請求項１または２に記載の光照射医療装置。
【請求項４】
前記第１筒状部材は、前記第１窓よりも前記射出光の通過性が低い材料から構成され、
前記第２筒状部材は、前記第２窓よりも前記射出光の通過性が低い材料から構成されている請求項１～３のいずれか一項に記載の光照射医療装置。
【請求項５】
前記第１窓には、前記射出光を透過する第１透明部材が配置されている請求項１～４のいずれか一項に記載の光照射医療装置。
【請求項６】
前記第２窓には、前記射出光を透過する第２透明部材が配置されている請求項１～５のいずれか一項に記載の光照射医療装置。
【請求項７】
前記第１窓と前記第２窓はそれぞれ前記シャフトの長手軸方向の長さが前記シャフトの周方向の長さよりも大きい請求項１～６のいずれか一項に記載の光照射医療装置。
【請求項８】
前記第１窓と前記第２窓はそれぞれ前記シャフトの周方向において前記シャフト全周の４分の１の長さの範囲内に設けられている請求項１～７のいずれか一項に記載の光照射医療装置。
【請求項９】
前記シャフトの遠位部に、前記シャフトの径方向外方に向かって拡張する拡張部がさらに設けられている請求項１～８のいずれか一項に記載の光照射医療装置。
【請求項１０】
前記拡張部は、バルーン、複数の弾性ワイヤを備えたバスケット、または自己拡張型ステントである請求項９に記載の光照射医療装置。
【請求項１１】
前記第１筒状部材は、前記第１筒状部材の前記第１区間よりも近位側に位置し、金属製のパイプから構成されている第３区間をさらに有し、
前記第２筒状部材は、前記第２筒状部材の前記第１区間よりも近位側に位置し、金属製のパイプから構成されている第３区間をさらに有している請求項１～１０のいずれか一項に記載の光照射医療装置。
【請求項１２】
前記シャフトの遠位端部に、前記導光装置の遠位部を支持する支持部がさらに設けられている請求項１～１１のいずれか一項に記載の光照射医療装置。
【請求項１３】
前記シャフトの前記長手軸方向において、前記第１窓および前記第２窓は、前記クラッドの非存在部よりも長い請求項１～１２のいずれか一項に記載の光照射医療装置。
【請求項１４】
前記第２筒状部材の内面に、前記コアからの射出光を前記第２窓に向かって屈折させる反射材が配置されている請求項１～１３のいずれか一項に記載の光照射医療装置。
【請求項１５】
前記導光装置は、前記光ファイバーを覆いかつ光透過性を有する保護筒を有する請求項１～１４のいずれか一項に記載の光照射医療装置。
【請求項１６】
前記第１筒状部材は、その遠位端部に前記第１窓の位置を示す位置表示部を有し、
前記第２筒状部材は、その遠位端部に前記第２窓の位置を示す位置表示部を有している請求項１～１５のいずれか一項に記載の光照射医療装置。
【請求項１７】
前記導光装置は、前記シャフトに対して前記シャフトの長手軸方向に平行な軸周りに回転しない請求項１～１６のいずれか一項に記載の光照射医療装置。